

総論

【IT化へのニーズ】 論点1(1)～(3) 【諸外国の動向等】 論点2(1)～(2)

【基本的方向性】 IT化の基本理念【論点3(1)】 IT化の目的等【論点3(2)～(3)】 IT化で目指す内容【論点3(4)】

3つの“e”

	第1回口頭弁論期日まで	争点整理手続	人証調べ・判決
e提出 (e-Filing) 論点3(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・訴状の裁判所への提出 ・手数料等の納付 ・裁判書類の被告への送達 ・準備書面や証拠等の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備書面や証拠等の提出等 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備書面や証拠の提出
e法廷 (e-Court) 論点3(6)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回口頭弁論期日 	<ul style="list-style-type: none"> ・争点整理手続 	<ul style="list-style-type: none"> ・証人等の尋問期日 ・判決言渡期日
e事件管理 (e-Case Management) 論点3(7)	<ul style="list-style-type: none"> ・事件の進行管理 ・期日の調整 ・訴訟記録の閲覧・謄写等 		

各論

【各論】

- 3つの“e”の優先度 論点3(8)
- IT化の検討で念頭に置く手続 論点3(9)
- 民事訴訟以外の手続等のIT化 論点3(10)
- IT化を進める類型等 論点3(11)
- 今後の工程・スケジュール 論点3(12)

【あい路・課題】

- IT化を進める対象 論点4(1)
- 本人訴訟等へのサポート策 論点4(2)
- 裁判記録の電子化 論点4(3)
- セキュリティ対策 論点4(4)
- 裁判情報の公開等 論点4(5)
- オンライン手続の利用促進策 論点4(6)
- 訴訟関係者が外国にいる場合の対応 論点4(7)
- システム連携 論点4(8)